

視察研修レポート

「沖縄の現状を確認」

1月27日～30日

沖縄研修
議員全員参加

沖縄防衛局

沖縄県における防衛施設
全般の状況を確認

- 1. 全国米軍施設（専用施設）の74%が沖縄に所在
- 2. 米軍施設面積は、本島面積の18%を占めます。
- 3. 米軍施設が民間地域に隣接しています。
- 4. 41市町村のうち21市町村に米軍基地が所在
- ・ 沖縄本島の人口90%が集まる中南部に普天間飛行場、嘉手納飛行場等米軍施設の約30%が所在しています。
- ・ 米軍施設の約67%が民公有地
- 4. 嘉手納飛行場の概要（防衛局屋上）
- ・ 総合的な機能を有する極東最大の空軍基地
- ・ 面積は、約1986ha
- ・ 成田空港の1.7倍

負担軽減処置

F15による訓練を県外自衛隊施設に移転し実施
住宅防音処置

対象世帯数約5万2000世帯に対し約4万8000世帯の防音処置を実施

説明を受けている時に航空機の離発着音でも聞こえない状況でした。



宜野湾市

普天間基地に係る
住民への負担軽減

宜野湾市は沖縄本島中部、那覇市の北10kmにあります。

見ることができました。

普天間飛行場は面積4.8km²で宜野湾市の面積の25%です。住宅地に近く「世界一危険な飛行場」と言われており、早期の移設が求められています。説明は、市役所並びに嘉数高台公園で受けました。公園から普天間基地は少し霞んで見えましたが、改めて基地移設問題、沖縄のおかれている現状、大きな住民負担等の一端を垣間見ることができました。

宜野湾市長は、『昨年のお喜真淳市長は、『昨年のおスプレイを使った日米共同訓練受け入れの決議文は、沖縄の過重負担を全国で分かち合うという観点から非常にありがたい。』と述べられ、金井議長は『飛行場は、住宅街の中にあり、非常に危険に感じました。基地負担軽減のためできることは協力したい。』と述べました。



学んで生かすべ!!

沖縄県庁

沖縄の現状を学ぶ



沖縄県庁に浦崎唯昭副知事を表敬訪問し、『村議会として昨年決議を示した意思は今でも変わらない。』と沖縄の基地負担の軽減に協力する姿勢を伝えました。これに対し、浦崎副知事は、『負担が集中す

る現状から一日も早く脱したい中で訓練受け入れの決議は、感謝に堪えない。榛東村の決議をきっかけに全国で基地負担の分担の声が高まることを期待したい。』と述べられました。

与那国町

自衛隊配備の住民投票



1月29日、日本最西端の与那国町議会を研修しました。沖縄本島から約509km東西に長く周囲27・5kmで、人口は約1500人であり、議員数は6人です。与那国は、陸上自衛隊沿岸監視部隊の配備推進町長を支持する3人の議員と反対する議員が3人で、賛成する議員が議長になったため反対議員の方が優勢で、部隊の配備問題をめぐり住民も二分しています。反対す

る議員は、配備の是非を問う住民投票（中学生以上未成年と永住外国人にも投票権を与える。）の関連条例制定に向け努力している一方、賛成する議員等は、島では『国境の島にこそ自衛隊が必要』であり、人口減少、地域の活性化の観点から推進し、自衛隊施設に使用される町有地の賃料を財源に学校給食費無料化やゴミ焼却施設の建設に取り組む計画です。住民投票で、中

学生以上の未成年者に投票権を与えるという考え方は実際に実施されるかわかりませんが、演習場と隣接する榛東村としても非常に興味深く感じています。

研 修 会	演 題	講 師
2月3日・4日 北群馬郡町村議会議長会 議員研修会	「議会議員と政務活動費について」	全国町村議会議長会 参与 小林 猛 氏
	「議会議員の政策形成機能について」	群馬県町村議会議長会 課長 伊藤 良和 氏